

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2014年1月から2016年7月までに当施設で切除したpStageⅢ大腸がんのうちHOPE検体採取に同意を頂いた症例を対象としました。術前化学療法、姑息切除、多発大腸がんや重複がん症例は除外しております。			
②研究課題名	pStageⅢ大腸がんにおけるRAS変異が再発に及ぼす影響について			
③実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2022年12月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	塩見明生	所属	静岡がんセンター 大腸外科
⑥当院の研究代表者	氏名	塩見明生	所属	静岡がんセンター 大腸外科
⑦使用する検体・データ	電子カルテ情報、手術で採取した検体			
⑧目的	切除可能大腸がんにおいて、RAS変異が予後因子であるかは未だ議論の余地があります。pStageⅢ大腸がんにおいてRAS変異が予後に及ぼす影響を臨床病理学的に検討しました。			
⑨方法	RAS変異の有無でpStageⅢ大腸がんを2群に分け、臨床病理学的因子、5年OS、5年RFSを後ろ向きに比較検討し、単変量および多変量解析を用いて再発危険因子および予後因子について後ろ向きに検討を行いました。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2021年9月30日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長